

無理せず「ひと涼み」 「クーリングシェルター」をご利用ください！

～ 大塚製薬・サンキュードラッグとの官民連携により熱中症への対応力を向上 ～

連日、命に関わる記録的な暑さが続く中、北九州市では、市民の皆さまが猛暑を避けて休息できる「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」を開放しています。

クーリングシェルターとは、外出中に暑さを感じた時はもちろん、自宅に冷房設備がないなど室温上昇により危険を感じた際にも避難できる「街なかの涼み処」です。どなたでも気軽に立ち寄り、涼むことができる環境を整えています。

「暑い」と感じた時は無理をせず、お近くのクーリングシェルターをご利用ください。

なお、今年度は、民間企業2社との連携により、公共施設への熱中症対策品の配備や、施設管理者が熱中症に関する正しい知識を習得し、来館者への適切な対応や地域での熱中症対策の推進につながるなど、熱中症対策を強化しています。

是非、ご周知のほどよろしくお願いいたします。

1 クーリングシェルターの概要

- 利用対象：暑さをしのぐための休憩施設としてどなたでも利用可能
- 利用方法：予約不要・無料
- 施設数：市内 257 施設（令和8年7月27日現在）
※施設の詳細など熱中症に関する情報は、右記二次元コードからご確認ください。
<内訳>

公共施設(163)：市民センター、図書館、生涯学習センター など

民間施設(94)：小売店(イオン、ナフコ、ミスターマックス)、
薬局(サンキュードラッグ等)、ドコモショップ など

- 利用可能な日時：各施設の開館・営業時間内
- 対象施設の識別：施設入口等に右記ステッカーを掲示



市ホームページ



ステッカー

2 官民連携による熱中症対策の推進（今年度の新たな取組）

包括連携協定を締結している2社と連携し、以下の体制で対策を強化しました。

- 協力企業：大塚製薬株式会社 九州第一支店、株式会社サンキュードラッグ
- 配備品：ポカリスエット、アイススラリー
※アイススラリーは市民センター(130施設)のみに配備しています。
どちらも配備数には限りがあります。
なお、市民センターへの配備品提供については7月23日(木)の市長定例会見にて発表した内容となります。
- 配備場所：クーリングシェルター指定の公共施設(163施設)
- 活用方法：来館者の体調不良などへの応急的な対応として活用
- 専門知識の習得：市民センター全館長が「熱中症対策アンバサダー®講座」を受講し、地域での熱中症対策を推進
※熱中症対策アンバサダー®とは、大塚製薬主催『熱中症対策アンバサダー®講座』の認定者です。

【お問い合わせ先】

環境局 環境監視課 松岡(課長)、奥田(係長)
電話：093-582-2290

クーリングシェルターの開放



熱中症対策アンバサダー®講座
啓発ポスターや動画の提供

熱中症対策品の提供